



第68回 全国植樹祭だより

とやま2017

第4号

平成29年4月



平成29年5月28日(日)

いよいよ開催!

NHK総合で全国に生中継!
県内のケーブルTVでも放送!

式典会場(イメージ図)
魚津桃山運動公園

サテライト会場で全国植樹祭に参加しよう!

どなたでもご来場できます!(9:00~14:00)

海の駅「蟹気楼」位置図



9:00~ 苗木無料配布

本大会で植樹する樹木と同種の苗木を約1,000本を無料配布します!(先着順)

他にも...

- ★飲食店ブース出展
- ★海鮮鍋振る舞い
- ★魚津沖クルーズ (9:00受付開始、人数限定、無料)
- ★全国植樹祭開催記念餅まき (12:45~)
- ★魚津の朝市同時開催 (6:30~12:00)



大型モニターで式典を中継



開催会場

以下の点に皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- ★5月27日(土)~29日(月)までの間、県内各地において交通規制が行われます。交通規制に関する詳細は、5月上旬から富山県警察ホームページで確認できます。
- ★式典会場周辺は、多くの人が集まることから、安全確保のためドローン等小型無人機は飛行させないようお願いします。

主催：公益社団法人国土緑化推進機構 富山県

地域リレー植樹イベント (10月以降)

南砺市 10月1日(土)
利賀村柵原地内

市内企業や利賀花とみどりの少年団等約170名が参加し、コナラやクリ等の苗木約1,000本を植樹

上市町 10月6日(木)
丸山総合公園

地域住民や上市花とみどりの少年団がコナラとクリの苗木を植樹したほか、下刈り・除伐・枝払い等森林整備を実施

小矢部市 11月6日(日)
小矢部運動公園

市内企業や地域住民によりコナラやクヌギを植樹

砺波市 11月20日(日)
頼成の森

森林ボランティア団体、砺波花とみどりの少年団等のほか、ゲストに石原良純さんをお迎えし、コシノヒガンやミズナラを植樹

立山町 10月22日(土)
五百石駅前

かがやき保育園児がサクラとヤマブキを植樹

高岡市 11月6日(日)
とやま・ふくおか家族旅行村

市内企業、地域住民によりコナラやクリ、サクラ等500本を植樹

富山市 11月6日(日)
呉羽丘陵

「NPO法人きんたろう倶楽部」の会員や地域住民により、コナラ・クヌギ・オニグルミ等の苗木約200本を植樹

滑川市 10月23日(日)
笠木地内

海岸の松林の美観を取り戻すことを目的として、地域住民、市内小学生がクロマツの苗木を植樹

トピックス

2月15日 木製品の寄付をいただきました!

富山県森林組合連合会様、農林中央金庫富山支店様から、演台とベンチを、大建工業株式会社様から、お野立所の床材と飾花プランターをご寄付いただき、その贈呈式を行いました。

演台には、砺波市産の樹齢180年のスギが使用され、井波彫刻でシンボルマークが刻まれた桐のパネルがあしらわれています。

お野立所の床材は、半屋外での使用を想定し、耐久性と滑りにくさに配慮した塗装を開発し、採用されています。



3月30日 寄付金をいただきました!

パナソニックグループ様から、開催支援として100万円をご寄附いただくこととなり、その贈呈式を行いました。

寄付金は式典会場に設置する県産材のベンチの購入費用として活用させていただきます。



お問合せ

第68回全国植樹祭富山県実行委員会事務局

(富山県農林水産部森林政策課内)
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-444-4077 FAX 076-444-3390



第68回全国植樹祭公式サイト
URL <http://www.68syokujusai-toyama.jp/>

第68回全国植樹祭 富山 検索

第68回全国植樹祭公式Facebook

第68回全国植樹祭の概要

式典行事

プロローグ ～世界に誇るとやまの自然と文化～

・富山県の標高3,000m級の立山連峰から水深1,000mの神秘の海富山湾まで「高低差4,000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊などで表現

式典 ～森・川・海のハーモニー～

- ・天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き
- ・各種表彰
- ・大会テーマのアピール

越中万葉をオペラ歌手が歌唱

かたかい かわ せきよ ゆみづ た がよ み
 片貝の 川の瀬清く 行く水の 絶ゆることなく あり通ひ見む
(訳:片貝川の瀬を清らかに流れ行く水のように私も絶えずこへ通ってこの神々しい立山を仰ぎ見よう)
 たちやま ゆき く はつつき かわ わたりぜ あぶみつ
 立山の 雪し消らしも 延槻の 川の渡瀬 燈浸かすも
(訳:立山の雪が消え始めたらしい。早月川の渡り瀬で、増えた水かさであぶみまでも水に濡らした。)

エピローグ ～つながりあう森・川・海を未来へ～

- ・とやまの伝統芸能等を披露
- ・森づくりボランティア等のメッセージ発表
- ・グランドフィナーレで、富山県ふるさとの歌「ふるさとの空」を大合唱

植樹行事

28種類
1万本を
植樹します

植樹会場 魚津桃山運動公園 魚津三ヶ
朝日赤川 入善五十里 黒部田耜
滑川運動公園 丸山総合公園(上市町)

開催時間:10:00～12:20

区分	内容
プロローグ	オープニング映像
	プロローグアトラクション
式典	天皇皇后両陛下下御着席
	開会のことば
	三旗掲揚・国歌斉唱
	主催者挨拶
	表彰
	苗木の贈呈
	天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き
	代表者記念植樹
	大会テーマのアピール
	大会宣言
リレーセレモニー	
エピローグ	閉会のことば
	天皇・后両陛下下御退席
エピローグ	エピローグアトラクション グランドフィナーレ



みなさんのご協力により全国植樹祭の準備が進んでいます!

苗木のホームステイ

県内の小中学校、花とみどりの少年団、森づくりボランティア団体等のみなさんに育てていただいた苗木2,317本は、全国植樹祭の招待者記念植樹に使用させていただきます。



のぼり旗への寄せ書き

花とみどりの少年団や苗木・飾花に携わった高校生にのぼり旗へ寄せ書きをしていただきました。リレー植樹で書いていただいた、のぼり旗と一緒に式典会場に飾らせていただきます。



県内高校において苗木育成や飾花栽培



富山県立中央農業高校生によるイタヤカエデ等の植樹用ポットへの植え替え



富山県立上市高校生による優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の選別



富山県立入善高校生によるコシノフユザクラの植樹用ポットへの植え替え



富山県立氷見高校生によるマリーゴールドの鉢上げ



富山県立小矢部園芸高校生によるベコニアの育成



富山県立南砺福野高校生によるマリーゴールドの鉢上げ・追肥
※今後、富山県立小杉高校生も飾花の育成に参加します。

吹奏楽隊合同練習



式典での吹奏楽は
 ●富山県学校吹奏楽連盟
 ・富山県立泊高等学校
 ・富山県立入善高等学校
 ・富山県立桜井高等学校
 ・富山県立魚津高等学校
 ・富山県立魚津工業高等学校
 ・富山県立滑川高等学校
 ・富山県立上市高等学校
 ・富山県立雄山高等学校
 ・荒井学園新川高等学校
 ●富山県警察音楽隊
 のみなさんに演奏していただきます。

ウェルカムボード作成



魚津市内の小学生全員がペイントした、15cm角の県産材(第35回全国豊かな海づくり大会で両陛下下の御放流台として使用されたものを加工)から作られるウェルカムボードを、魚津桃山運動公園の式典会場入口に設置し、参加者をお迎えします。



ウェルカムボード(大きさ 幅20m×高さ4m)

プロローグアトラクション合同練習



式典のプロローグでは
 ●富山県洋舞協会
 ・可西舞踊研究所
 ・田中秀子バレエ研究所
 ・和田朝子舞踊研究所
 ・中川モダンバレエアカデミー
 ・谷井よう子舞踊研究所
 ・大川都バレエ教室
 ・ニシムラヤスコダンスファクトリー
 ・津田バレエスタジオ
 ・フェアリーバレエシアター
 のみなさんによる創作舞踊でとやまの自然と文化を表現します。

親子3代で出場します。良い思い出になるよう頑張ります!

マナー練習・介添え練習



式典アシスタントは
 ●富山県立入善高等学校
 ●富山県立上市高等学校
 ●富山県立中央農業高等学校
 ●富山県立小杉高等学校
 ●富山県立氷見高等学校
 ●富山県立小矢部園芸高等学校
 ●富山県立南砺福野高等学校
 式典行事での介添えは
 ●花とみどりの少年団
 ●日本ボーイスカウト富山県連盟
 ●ガールスカウト富山県連盟
 のみなさんが担当します。

合唱隊合同練習



大勢の参加者の前で歌うのは緊張するけれど、間違えないよう大きな声で歌います!

式典での合唱は
 ●砺波市立出町小学校
 ●南砺市立井波小学校
 ●南砺市立福野小学校
 のみなさんです。

エピローグでのせり込み蝶六の練習



エピローグで披露されるせり込み蝶六は
 ●魚津せり込み蝶六保存会
 ●魚津市内の小学生のおよそ130名で行われます。

みんなと心をつなげて、きれいな蝶六を見てもらいたいです!

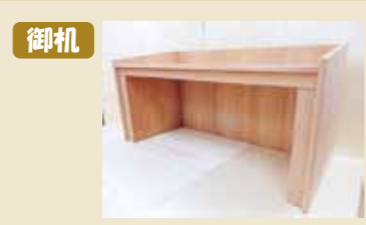
お野立所 完成間近



榊東城 現場代理人: 伊東 尋志さんより
 受注した際は不安とプレッシャーでいっぱいでしたが、何度も建方検討会を行い、安全かつスムーズに工事を行うことができました。県産スギの温もりが感じられるよう、色味や木目、節のバランスなど時間をかけて材料を厳選しました。

宮大工: 永山 守さんより
 今までに経験したことのない構造だったため、原寸図の作成、1本1本形や径が異なる丸太やトラス部材への正確な墨付け、仕口加工に苦労しました。模型を製作し、設計士や監督と試行錯誤しながらお野立所を建築できたことは本当に良い経験になりました。

御机、御種入れ完成



御机
 製作者: 小野沢家具店 代表取締役社長 小野澤 維有創さんより
 板のくるいを少なくするため、材料の吟味をしながら榎目仕様に拘りました。更に、1枚1枚の色目や杢目を組み合わせ、まるで1枚板に見えるように仕上げました。

製作者: 木々工房 代表 林 哲三さんより
 木目の美しさに拘り、榎目取りとなるような材料選定に時間を要しました。また、庄川挽物木地の特長を活かしながら、手のひらに乗せて安定するような形状や大きさに配慮しました。



御種入れ